



はと時計 2/3 月合併号 '20 高3 司書体験特集 参加者が

各自選んだテーマで本を紹介しました。2020年2月18日発行 第220号

「生きる行動」



『スヌーピーの初恋物語』チャールズ・M・シュルツ著 谷川俊太郎訳 角川文庫 1996年
なんとスヌーピーが初恋？相手は、ビーグルの女の子？それとも人間の女の子…？スヌーピーの恋の行方は？
他にも、スヌーピーの小屋の中が明らかに！？

『スヌーピー全集』チャールズ・M・シュルツ著 谷川俊太郎訳 複刊ドットコム 1980年
スヌーピー初心者の人にもわかりやすいように四コマ漫画で画かれています。日本語訳も付いているのでオススメ！

『優しい死神の飼い方』知念実希人著 光文社文庫 2016年
死神に対して持つあなたのイメージは、どんなものでしょうか？ガイコツ？鎌を持った悪魔？しかし、この本の死神は、優しい瞳を持ったかわいい犬です。そんな犬が、どのようにして魂をあの世へ連れて行くのでしょうか？涙ありの一冊です。

『犬が教えてくれた素敵な物語』野中圭一郎著 三笠書房 2018年
犬とのハートフルな15のストーリーを集めた短編集です。第一話では、普段はおとなしくて小心者の愛犬コロも、友だちが危機ならば相手がイノシシであろうと飛びかかって立ち向かう。そんなけなげな姿にこころ打たれます。実際に話す声は聞いたことがないけれど、言葉を交わしています。犬は友、犬は家族。警察犬、介助犬、盲導犬、聴導犬などの働く犬たちも出てきます。こころが温くなる一冊です。

畜犬談 太宰治著 『男性作家が選ぶ太宰治』講談社文芸文庫ほか 2015年
私は犬については自信がある、必ずいつか嘸まれる自信が！と犬を恐れる書き出しから、最高に笑える20ページ。犬に嘸まれないよう、自分が敵ではないと犬に知らせるために笑顔で夜道も童謡を歌ったりするうちに犬たちに好かれるようになって…。実は自分が犬に似ているのではと恐れる部分、奥さんのほうが度胸があったり、芸術家は～と言いつつ出ず場面は見事！最後のどんでん返しもキマっている、太宰の絶好調の中期の短編。

『さくら』西加奈子著 小学館文庫 2007年
仲が良く美しい両親、イケメンで人気者の兄、少し地味だけど一通りのことはできてしまう僕、誰もが振り向く美少女なのに凶暴な妹。そして嬉しい時、泣きそうな時、ひとりぼっちの時、天真爛漫な愛らしさで傍にいてくれる、犬のサクラ。絵に描いたような幸せな家庭にも容赦なく危機は訪れる。悲しみの底にいる家族に差し込む光とは？今年の夏、映画が公開されますよ♪

『一人っ子同盟』重松清著 新潮文庫 2017年
一人っ子は昔は珍しい家庭だと言われていましたが、今ではそうでもありません。私は一人っ子です。そして友達も一人っ子です。一人っ子は、父と母しかいないので、兄弟と話し合うことができない。そして、学校の友達と別れたら、誰も話し合うことができないから、一人っ子は暇だと思いました。ある小学6年生のノブとハム子がいた。この2人は同じ一人っ子で、同級生のみんなから「一人っ子同盟」と言われていました。2人は、性格が共通点などころもあったので仲良くしていました。しかし、ハム子はわがままなところがあり、人の迷惑を考えていないところがあったので、ノブが止めてくれます。一人っ子たちは、友達やいろいろなことを経験したことがないので、難しいかもしれないけど、自分の目で見てこれをやってはいけないと思ったら、他人にしないこと。ノブとハム子はお互い壁を乗り越えて小学校を卒業しようとしています。

『四字熟語の知恵』ひろさちや著 日経ビジネス人文庫 2004年
人間関係に悩みがある人は、4つの四字熟語をおすすめします。『不将不迎』『雨奇晴好』『多岐亡羊』『象箸玉杯』昔、中国人が実際に経験をしたことで私はその人たちの文を読んで、同じ気持ちなのだと思ったことがありました。人のことを気にしすぎる人はこの本を読んでげんきになってほしいです。そして、新しい未来に向かって頑張してほしいです。

『こころ』夏目漱石著 角川文庫ほか 2004年改版
三角関係は、悩み、葛藤、不安、に包まれて大変だと思った。最後の話は先生もKも自殺してしまいます。なぜ先生はお嬢さんを手に入れたのに自殺したのだろうと思いました。その理由は、明治という時代の終わりだといわれているらしいです。大正という時代を迎えるためにあたって、殉死しようと思ったのです。私は先生に長生きしてほしいなと思いました。Kが自殺したことに気になる先生は失恋かなと思ったが、やはり自分が孤独になったからなのかと先生は考えた。もし恋愛に失敗したとしても次の人を探して幸せに暮らせたいのにと怒りを持ちました。私はたとえ新しい時代が始まったからと言って、自殺すると考えないほうがいいと考えました。自殺をしたら罪だと思います。神が命を授けてくれたのに自分で殺すのは罪。自殺しなくても縁のある人と幸せに暮らしたらそれでいいと思います。孤独は全く寂しくはない。自分にはまだ試練が残っているから乗り越えなければならないと私はそう思いました。



夢想

『おちくぼ姫』 田辺聖子著 角川文庫 1990年

「心は閉じ込められてませんわ。あなたのおそばにいます。」

高貴な貴族の娘にかかわらず、新しい母によって段が一段低いおちくぼんだ部屋に住まわされる‘おちくぼ姫’いつしか夢見がちになっていく。

そんな中、都でも大変有名な一人の貴公子と出会う。



『痴人の愛』 谷崎潤一郎著 角川文庫 1952年

私は13歳も年下の少女のナオミにとっても心を奪われていた。一回りも離れているとは思えないほど美しい顔立ちであった。同居し始めるがいつしかナオミは私に興味を示さなくなる。



『スケッチブック-供養絵をめぐる物語-』 ちばるりこ著 ティーンズ文学館

学研プラス 2018年

絵を描くことが大好きな紗里奈は、心無い言葉に傷ついて描くことを止めてしまいます。暫く経った夏休みに、幼い頃に亡くしたお母さんの故郷の遠野で「供養絵」という絵に出会います。「供養絵」は、夢で想うことしかできなかったお母さんと紗里奈を繋ぐ絵。遺された人のための絵でした。自分も「供養絵」を描くことで、過去の困難を乗り越える力を与えられました。



『図書館戦争』 有川浩著 角川文庫 2011年

高校生に出会った自分を救ってくれた王子様に会いに行くため、本を守るために作られた組織の図書隊に入隊する。

しかし夢にまで出てきた王子様は、自分の思っていた人と全くちがう人物だった。



「犬」「生きる行動」「夢想」のテーマで紹介されたそれぞれの本、いかがでしょうか？高3生徒が作ったPOPと同じテーマのほかの本も一緒に展示していますのでぜひ図書館に見に来てください。また、毎年恒例の雛人形の段飾りも飾っております。

王子動物園バックヤードツアーに行ってきました。

パンダの担当係にウンコの匂いをかがしてもらい（草の匂い。臭くない）、爪をさわり、エサである六種類の竹を見せてもらいました。ダチョウの卵を持って（重い）、人工保育のフラミンゴに触れるくらい近くで写真を撮り、ピンクの羽のキーホルダーをもらって、調理場に行きました。マイナス二十℃にまでなる冷凍庫のなかでは、野生の動物は草を選べるけど動物園の子は選べないということのできるだけ質の良いものを入手して提供しているそうです。シロフクロウを本校がサポートしているので、松蔭のプレートが園内にあります。

アムールヒョウの三つ子の赤ちゃんはシム・シメールの版画そっくりの愛くるしさ。生まれた仔もいれば、亡くなった仔の話もお聞きました。

昨年死んでしまったマヌルネコのペッキーは国内飼育最高齢十二才、大往生だったそうです。

昨年のオーストラリアの森林火災でコアラなど野生動物が数万匹も犠牲になったそうで、園内で募金を受付けていました。



動物の飼育担当者から直接苦勞話が聞け、質問できる貴重な機会、
来年は応募してみませんか（松蔭生限定）。
毎年一月第一週に募集予定です。（M）

図書館春休み開館日（土日を除く）

3月23日（月）～27日（金）、4月1日（水）～7日（火）

8：45～16：15

春休み貸出は3月6日（金）から10冊借りられます。

4月8日（水）返却日 問い合わせは library@shoin-jhs.ac.jp まで